

令和8年度 北九州市港湾空港局 当初予算概要

1 予算の総額と前年度比較

(単位：千円)

会 計	令和8年度 当初予算額 (A)	令和7年度 当初予算額 (B)	増減額 (C)= (A-B)	増減率 (C)÷(B)
2款 総務費 (空港関連予算)	2,216,445	1,846,349	370,096	20.0%
7款 農林水産業費 (港湾関連予算)	49,500	0	49,500	皆増
10款 港湾費	9,570,285	10,876,351	▲1,306,066	▲12.0%
一般会計 計	11,836,230	12,722,700	▲886,470	▲7.0%
港湾整備特別会計	6,300,800	5,743,800	557,000	9.7%
土地取得特別会計 (港湾空港局関連予算)	0	125,556	▲125,556	皆減
空港関連用地整備 特別会計	4,900	3,500	1,400	40.0%
臨海部産業用地貸付 特別会計	466,300	468,600	▲2,300	▲0.5%
市民太陽光発電所 特別会計	105,400	103,000	2,400	2.3%
特別会計 計	6,877,400	6,444,456	432,944	6.7%
合 計	18,713,630	19,167,156	▲453,526	▲2.4%

2 主要施策

「稼げるまち」の実現

- ・ 港湾では、長期構想と港湾計画に基づき、機能強化と利用促進、2024年問題対応、港湾施設マネジメントの推進、風力発電関連産業の総合拠点化に取り組む
- ・ 空港では、滑走路延長を起爆剤とした物流拠点化に向けた機能強化、路線誘致や集貨・集客等の利用促進、アクセス強化等に加え、開港20周年記念を含めたイベント実施により快適で機能的な空間の構築を行う

「彩りあるまち」の実現

- ・ 国内外からの多くの観光客や市民等が訪れ、楽しめるよう、港湾の魅力向上と賑わいづくりに取り組む

「安らぐまち」の実現

- ・ 市民の安全・安心を守るため、港の防災・減災対策と港湾施設の老朽化対策に取り組む

1 北九州港

(1) 北九州港の機能強化

アジアの「物流拠点」を目指し、港湾施設整備による機能の強化や、老朽化した施設の機能維持・向上に取り組み、稼げる基盤をつくる。

《主な事業》

- ・ **新規**: 新門司地区ROROターミナル整備事業 【667百万円】
- ・ **新規**: 太刀浦第1コンテナターミナルコンテナクレーン更新事業 【31百万円】
- ・ 太刀浦地区施設整備調査検討事業 【64百万円】



【新門司地区ROROターミナルのイメージ】



【太刀浦コンテナクレーン】

(2) 北九州港の利用促進

北九州港の航路維持・拡大及び集貨拡大を目的として、新たな航路・貨物やフェリー・RORO航路の新規利用に対する補助を行う。

《主な事業》

- ・ 港湾利用促進支援事業 【47百万円】
- ・ 海上モーダルシフト促進事業 【5百万円】



【フェリー・RORO船】

(3) 港湾施設マネジメントの推進

港湾施設の集約・利用転換、民間活力の導入による施設の再配置を行うことを目的として、必要となる現地測量や利用者調整等を行う。

《主な事業》

- ・ 港湾施設マネジメント推進事業 【114百万円】

(4) 風力発電関連産業の総合拠点形成（洋上風力の産業ハブ展開集積プロジェクト）

風力発電関連産業の総合拠点を形成するため、企業誘致活動や普及・啓発活動を実施するとともに、洋上風力O&Mの地元企業新規参入および既存企業の事業領域拡大のための支援を行う。

また、浮体式洋上風力発電の総合拠点化を目指し、基礎構造物を保管する水域の整備方針の検討を行う。

《主な事業》

- ・洋上風力関連産業用地整備事業 【286百万円】
- ・浮体式拠点形成事業 【9百万円】
- ・響灘洋上風力発電拠点化推進事業 【7百万円】
- ・洋上風力O&M競争力強化事業 【5百万円】



【基地港湾に着岸するSEP船と洋上風車部材】



【北九州響灘洋上ウインドファーム】

(5) カーボンニュートラルポート(CNP)の形成

「ゼロカーボンシティ」の実現に向けて、港湾における脱炭素化の取組みを推進するため、港湾脱炭素化推進計画の更新や臨海部水素拠点形成の検討を行う。

《主な事業》

- ・カーボンニュートラルポート(CNP)推進事業 【11百万円】

(6) みなとの賑わいの創出

関係局や下関市と連携し、関門エリアの周遊性向上等に取り組むことで、みなとの賑わいを創出する。

また、国内外のクルーズ船を北九州港に呼び込み、乗船客を市内観光地等に誘導することで、市内経済の活性化を促進する。

《主な事業》

- ・**新規**：「みなと」と「子ども」の
未来づくり連携事業 【5百万円】
- ・クルーズ船誘致・受入事業 【51百万円】



【クルーズ船】

(7) 防災・減災対策

高潮災害から立地企業を守ることを目的として、防潮堤の整備(新門司北地区)を行う。

《主な事業》

- ・海岸(高潮)事業 【9百万円】



【防潮堤整備のイメージ】

2 北九州空港

(1) 旅客・アクセス

世界へと広がる空のネットワーク構築に向け、新規航空路線(チャーター便含む)の誘致や台北線の再開等を強力に推し進めるため、運航支援や空港施設使用への支援、集客・PR活動、ハンドリング人材の確保等の取組みを実施する。

また、空港アクセス利便性の確保を目的に、朽網駅特急ルート[※]の定着・利用促進や増便したエアポートバスの運行支援等の取組みを実施する。

《主な事業》

【旅客】

- ・新規航空路線支援事業 【188百万円】
- ・空港受入体制強化事業 【11百万円】

【アクセス】

- ・空港アクセス強化事業 【99百万円】



【国内外の旅客定期便】



【朽網駅特急ルート】

(2) 貨物

滑走路3,000m化を控え、グローバルに拡大する物流拠点空港を目指し、新規路線の誘致や運航支援、集貨促進等を実施する。

また、活発な投資が進む半導体関連貨物の重点的な集貨促進等に取り組む。

《主な事業》

- ・北九州空港整備事業
地元負担金 【899百万円】
- ・航空物流支援事業 【588百万円】
- ・次世代航空物流構築事業 【105百万円】



【国内外の貨物定期便】

(3) 魅力向上

開港20周年を機に、世界へと広がる空のネットワーク構築を推進するため、空港を市民の暮らしやまちの彩り・魅力を引き出す“エンタメスポット”として位置づけ、市内の観光スポットやイベントと連携した取組みを実施し、空港の魅力向上に取り組む。

《主な事業》

- ・**新規**：北九州空港20周年記念市民還元事業 【2百万円】
- ・北九州空港魅力向上事業 【30百万円】



【魅力向上・販わいづくり(イベント等)】